

長崎県内のかんきつ主産地のミカンハダニの薬剤感受性						
<p>(要約) 長崎県内のかんきつ主産地の<u>ミカンハダニ</u>はオマイト水和剤, ダニトロンフロアブル, サンマイト水和剤に<u>感受性</u>であったが、ダニカット乳剤, オサダン水和剤, ニッソラン水和剤に<u>抵抗性</u>である。</p>						
長崎県果樹試験場病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	指等
平成4年度長崎県果樹試験場業務報告						

〔背景・ねらい〕

一昨年、昨年とミカンハダニが多発し、一部の薬剤で防除効果が低下して防除に苦慮したので、県内の主なかんきつ産地のミカンハダニの薬剤感受性を調査し、効率的防除体系を確立する。

〔成果の内容・特徴〕

- ① ダニカット乳剤については一部の地点を除き、感受性が低下していた。オサダン水和剤及びニッソラン水和剤では全ての地点で抵抗性である。
- ② ロディー乳剤にオルトラン水和剤の混用では、感受性が高い地点もあったが、昨年と比べて抵抗性の兆しがみられ、感受性低下の著しい地点がある。
- ③ オマイト水和剤, ダニトロンフロアブル, サンマイト水和剤は全ての地点で感受性である。

〔成果の活用面・留意点〕

感受性がわずかに低下した薬剤でも一時的な密度減少には効果があるので、それらの薬剤も有効に利用する必要がある。薬剤の感受性は地域によって異なるので、使用にあたっては事前検定を行って効果があるかどうか確認する。

〔具体的データ〕

表1 各地のミカンハダニの薬剤感受性  
補正殺卵率+殺虫率を示す

供試薬剤名	処理濃度	佐世保市農協			多良見町農協			大村市内		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3
ダニカト 乳剤	3000倍	86.2	61.3	100.0	78.0	40.9	42.9	96.4	100.0	85.3
“	10000	53.7	42.7	76.6	68.5	56.8	48.1	39.7	81.3	72.6
ワイト 水和剤	2250	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
“	7500	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ワザン 水和剤	9000	25.8	21.4	84.3	27.7	28.6	47.2	75.0	52.9	97.0
“	30000	45.1	15.2	42.6	31.3	52.8	40.4	56.8	15.4	30.4
ニツラン 水和剤	9000	14.4	32.8	66.0	42.7	50.0	54.1	78.2	61.8	81.7
“	30000	19.8	31.4	77.6	60.3	44.2	39.2	22.2	47.6	82.1
ダニロン フロアブル	6000	96.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.8	100.0	100.0
“	20000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.4	100.0
ワスマイト 水和剤	9000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
“	30000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
SU-8801 フライフロアブル	12000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
“	40000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ロファイ 乳剤	6000	100.0	88.3	100.0	37.3	67.6	88.2	100.0	81.8	99.3
ワルトラン 水和剤	4500									
“	20000	80.0	47.2	91.2	27.9	47.6	71.8	89.5	63.5	100.0
“	15000									

〔その他〕

研究課題名：果樹の特殊病害虫発生状況調査

予算 区分：県単

研究 期間：平成4年（平成3～5）

研究担当者：大久保宣雄

既発表論文等：平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：県内全域の感受性検定が必要である。